

視聴覚教育

NO 48

発行日 53.12.15
発行所 岡山県教育委員会
編集 岡山県教育委員会
発行所 岡山県教育委員会

アメリカの視聴覚教育

県教職員海外研修の一員としてアメリカの教育を視察する機会に恵まれた。テキサス州エルパソ市とオレゴン州ユージーニ市を中心に二十四の学校や教育センターを訪問した。

小学校を多く視察したが、共通して言えることは、「読み・書き・計算」で代表される基本を重視した学習を徹底させていることである。低学年では、一クラスの人数は多く二十五人、担任と助手がついて徹底した個別指導が成されていた。多くの教室に個別学習用の機器が備えつけられており、ヘッドホンを耳に、リーディングテープを聞く風景に、しばしば出くわした。

それにひきかえ、放送利用は予想外に少なく、各教室にテレビが備えられている学校はあまりなかった。教育放送が、日本と異なり、地域ごとに流されているため、質・量ともに問題はあろうが、根本的な問題は個別学習が一斉学習にかかわることである。

日本のように人数が多く、一斉授業にならざるを得ない国と、教師ひとりあたりの児童数を減らし個別指導に徹することのできる国とでは、視聴覚教育との差が生ずるのではなからうか。

しかし、アメリカとて一斉授業がないわけではない。高学年になるに従い、その比率は高くなって行く。三千人を越すクラスもでてくる。一斉授業に適した機器が必然的に活用されることになる。伝統的な映画利用による学習も、教育サービスセンターの貸出し状況からして、その根強さが実証された。

今回視察した都市において見る限り、AV教育でうと新しい点はほぼ見受けなかったというのが実感である。

視聴覚教育 動向報告会

去る十一月二十四日(金)午後三時三十分より、美川中学校体育館で、本年度の視聴覚教育動向報告会が開かれた。

内容は、放送学習実践報告會海中・生駒先生・視聴覚教育全国大会報告大樹寺小・小出先生・放送特研報告美山中・石原先生・放送教育全国大会報告・愛宕小・白井先生・美川中・加藤忠先生・市内各小中学校視聴覚主任と美川中学校の先生合わせて六十余名の参加。内容の濃い充実した報告会であった。



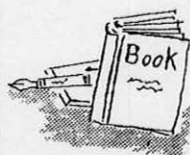
放送による疑似体験から

イメージの進化へ

城北中学校 佐野 旭

日頃、テレビでの放送学習を実践している中で感じることは、
「百聞は一見にしかず」ということである。特に地理番組はその
感が強い。例えば、シंगाポールという国についてテレビが生徒
に与える体験（疑似体験）と同じ体験をさせようとしたら、われ
われは膨大な時間と費用と労力を要するであろう。画面はシंगा
ポールの現実の姿を生々しく伝える。そこには何の飾り気もない。
シंगाポールの人々の生活そのものがある。美しい海がある。中
継貿易国としての活気に満ちた港がある。新しい工業団地、ニユ
ータウンの建設現場がある。次から次へと目を見はる事実が生徒
をおどろかす。もう生徒はシंगाポールにいる。豊かなイメージがわ
いてくる。

放送学習について多くの理論がある。教育の現代化が叫ばれる
中で、それらの理論は当を得たものが多く、われわれの学ぶべき
ものに違いない。しかし、それらの理論以前
に、私は生徒により多くの体験をさせたいと
願って放送学習にとりこんでいる。



ライブラリーだよ

新規購入十六ミリ映画紹介

新しく次のようなフィルムが入りました。一月から貸
出しをします。せいぜい、利用下さい。

- ・「さよならならばくの大ロッキー」 四十五分（カラー）
小学校、一般 児童劇
- ・「あぶないわるいくせ」 一九分（カラー）
小学校低学年 交通安全
- ・「楽しいマッド運動」 一〇分（カラー）
小学校中・高学年 体育
- ・「わがまな巨人」 二十七分（カラー）
小学校低・中学年 漫画
- ・「結婚とは」 三十一分（カラー）
青年・成人 社会教育
- ・「豊かな高齢期」 二十八分（カラー）
老人・成人 社会教育

県自作視聴覚教材コンクール応募締切迫る！！

期日……一月十日。提出先 視聴覚ライブラリー

くわしいことは、教育公報一八七号参照のこと。